

## 委員一覧

社会人学び直し推進委員会	プログラム開発委員会
産業技術大学院大学 催眠技術研究科員 創造技術専攻 教授 川田 達一（プログラム責任者）	産業技術大学院大学 プログラム開発委員会
産業技術大学院大学 指導監修委員 情報アーキテクチャ普及教員 小山裕司（プログラムコーディネーター）	産業技術大学院大学 プログラム開発委員会
産業技術大学院大学 催眠技術専攻・クラウド収容・教授 渡森 謙	産業技術大学院大学 プログラム開発委員会
産業技術大学院大学 催眠技術専攻・教授 篠原 好衛	産業技術大学院大学 プログラム開発委員会
産業技術大学院大学 催眠技術専攻・教授 斎井 大輔	産業技術大学院大学 プログラム開発委員会
日本IBM クラウド・エンジニアリング（株） アドバイザー・ニアシティ・井手田 信	産業技術大学院大学 研究科長付 創造技術専攻 教授 越水 重臣
NECマネジメントパートナー（株） マネジメント研修事業部 エグゼクティブエキスパート 但田 滉 (株) 日立製作所 情報通信システム社 営業課 須瀬 純男	産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻教授 戸沢 義夫
東洋（株） グローバル事業創造部 営業課 須瀬 貴之	産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻教授 松尾 徳朗
横河電機（株） 次世代技術開発部 営業課 須瀬 浩	産業技術大学院大学 催眠技術専攻 教授 吉田 敦
（株）ワークスプロフェッショナルアドバイスト・テクノロジー&エンジニアリング本部 Executive Fellow 小林 実行 (株) FUJITSUユニバーシティエグゼクティブ・プランナー 上野 新苗	中京大学 催眠技術専攻 教授 関根 浩
ATOMICO 日本支社 代表 古田 真一	NCCコミュニケーションズ（株） マネジメント研修事業部 シニアエキスパート 大久保 雅司
（株）車芝デザインセンター デザイン統括部長 小内 克彦 凸版印刷（株）マーケティング部 部長 垣 雅之	（株）アストロ物理ホールディングス代表取締役CEO 日下 康幸
日本IBM（株）上級ITスペシャリスト 平山 敏弘 サイボウズ（株）ビジネスマーケティング本部BPM部アライアンスマネージャ 佐藤 勉	小倉記念病院 脳神経内科部長 松本 隆二
メドコネット（株）代表取締役 花田 徳康 (株) mediba 新規事業企画部 部長 清東 英典	メドコネット（株）代表取締役 花田 徳康
イー・リゾート 代表 鍋持 勝	（株）リゾート 代表 鍋持 勝

（敬称略）

## 目次

- 事業概要等
  - 文部科学省委託事業 公募概要
  - 産業技術大学院大学概要
  - 背景、目的、成果目標
  - 体制・委員会構成、委員一覧
- 活動・成果の報告
  - 教育プログラム試行運用
  - 教育プログラムの開発
  - 社会人学び直し機運醸成
  - 事業の運営、普及、評価

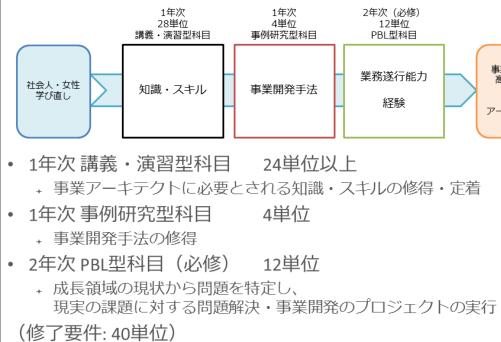
14

## 活動・成果の報告

- H26年度 事業、教育プログラム、カリキュラムの設計
- H27年度 事業アーキテクト養成のための基盤の構築
- H28年度 事業アーキテクト養成のための基盤の構築の継続**
- 活動及び成果の内容
  - 教育プログラム試行運用
    - 1年生（講義演習型科目・事例研究型科目）約10名
    - 2年生（PBL型科目）約10名
  - 教育プログラムの開発
    - PBLキャンプ、教員研修、教材・事例の調査・開発、実証実験
  - 社会人学び直し機運醸成
    - 起業塾等
  - 事業の運営、普及、評価
    - ワークショップ、外部評価等

15

## 教育プログラム（修士課程）



- 1年次 講義・演習型科目 24単位以上
  - 事業アーキテクトに必要とされる知識・スキルの修得・定着
- 1年次 事例研究型科目 4単位
  - 事業開発手法の修得
- 2年次 PBL型科目（必修） 12単位
  - 成長領域の現状から問題を特定し、  
現実の課題に対する問題解決・事業開発のプロジェクトの実行

16

## 科目一覧 1/2

- 〈新規: 講義・演習型科目〉事業アーキテクチャ科目群
  - 経営戦略特論
  - スタートアップ戦略特論
  - マーケティング特論
  - リーダーシップ特別講義
  - ITソリューション特論
  - 事業アーキテクト特論（次世代成長産業）
  - コンセプトデザイン特論
- 〈新規: 事例研究型科目〉事業アーキテクチャ科目群
  - 事業アーキテクチャ研究（事例研究）
  - 事業アーキテクチャ設計（事業設計）
- 〈新規: PBL型科目〉
  - 事業アーキテクチャ特別演習1
  - 事業アーキテクチャ特別演習2

17

## 科目一覧 2/2

- 〈既存: 倫理〉共通必修科目群
  - 技術倫理、情報技術者倫理のどちらか1科目必修
- 〈既存: 情報アーキテクチャ専攻〉専門科目群
  - 準推奨科目 14科目
  - 修了要件対象科目約30科目
- 〈既存: 創造技術専攻〉専門科目群
  - 準推奨科目 9科目
  - 修了要件対象科目約30科目
- 〈既存: 国際〉専門科目群
  - 国際経営特論、国際開発特論 2科目

18

## 修了要件

科目群	種別			
	必修	選択必修	必修	
共通必修科目群（倫理科目）	—	2単位	—	2科目から選択
事業アーキテクチャ科目群（新設）	—	10単位	—	講義・演習型科目（経営戦略特論等）、事例研究型科目の8科目から選択（PBL型科目の履修前に単位取得する必要がある）
専門科目群（既設）	—	—	16単位	情報アーキテクチャ専攻または創造技術専攻の既存の専門科目から選択
事業アーキテクチャ特別演習	12単位	—	—	PBL型科目（2年次）
• 2年以上在学し、定められた授業科目を40単位以上修得すること（修了要件の40単位の総授業時間数は690時間（30時間×14科目）+135×2科目）、総時間は1,800時間以上）	19			

19

## 新設科目（講義・演習型）

- 戦略・経営に関する最低限の知識の修得
  - 経営戦略特論
    - 経営戦略の基本体系、経営思想、経営計画、事業戦略構築、組織等
    - スタートアップ戦略特論
      - 起業・新規事業の事業計画、資金調達、資源管理、プランディング等
    - マーケティング特論
      - マーケティングの理論・応用・戦略、戦術、顧客価値等
    - リーダーシップ特別講義
      - リーダーの志、価値観、機能（指示、盛り上げ、仕組み等）、事例等
    - ITソリューション特論
      - 課題管理、ERP、BPM、CRM、コラボレーション等、ベストプラクティスとしてのパッケージソフトウェアの活用
    - コンセプトデザイン特論
      - シナリオ・ブランディング、エスノグラフィの事業応用

20

## 新設科目（事例研究型等）

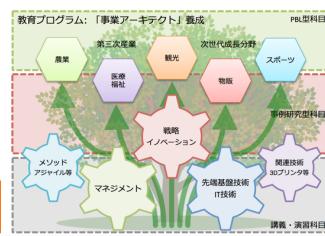
- 事業開発・問題解決に関するメソッドの修得・経験
  - 事業アーキテクチャ特論
    - 次世代成長産業の各産業の現状、課題、効率等の理解（俯瞰）
    - 観光・医療・物販・農業・スポーツ・航空産業等の7産業分野
  - 事業アーキテクチャ研究（事例研究） 集中講義
    - 既存の業務改革の成功・失敗事例の研究
  - 事業アーキテクチャ設計（事業設計） 集中講義
    - 既存の問題に対する業務改革の提案・設計（アイディアソン）
    - グループに分け（4名前後×3組）、複数の課題を繰り返し（3回）を解く。
  - 事業アーキテクチャ特別演習1及び2（PBL型科目）
    - 事業の提案・設計から、実際に開発・検証を行う。

21

## 試行運用: 学生募集案内

- 次世代成長産業分野での事業開発・事業改革のための高度人材養成プログラム（「事業アーキテクト」養成）
  - 「戦略+技術」を学ぶ新しい教育プログラム（両専攻横断型）
  - 成長分野（観光・医療・物販等）で、IT・製品開発・マネジメント・デザインを活用し、生産性・付加価値を高めるための事業開発を学ぶ。
- 戦略：経営、マーケティング、リーダーシップ、スタートアップ等
- 技術：IT、デザイン、製品開発、マネジメント等
- 事例研究：ケースメソッド等
- PBL：プロジェクト実践
- 対象分野の業務知識・現状・課題
- メソッド・ツール、法規・倫理等

平成27年度から学生を募集します  
定員 10名



## 教育プログラムの開発等

- 教員研修
  - ケースメソッド、フィールドメソッド（5回）
- PBLキャンプ
  - アイディアソン及びハッカソン（2回）
- 教材・事例の調査・開発
  - 医療、観光、地域活性等の事例
  - 各種のメソッド開発
- 実証実験
  - 遠隔授業
  - ITツールの活用

23

## 教員研修

- 事業アーキテクト養成教育のためのケースメソッド教授法
  - 慶應義塾大学大学院経営管理研究科  
ケースメソッド授業法研究普及室特任准教授竹内伸一
- 実践的教育のためのケースとケースメソッド導入に向けて
  - 一般財団法人貿易研修センターシニアアドバイザー稻葉エツ氏
- 経験から学ぶ実践家を育てる（ケースメソッド授業手法）
  - 筑波大学佐野享子  
(第20回FDフォーラムとして開催)

24

## PBLキャンプ

- アイディアソン・ハッカソン
  - H27: 東京五輪の外国人観光客を契機にサスティナブルな街を創る。
  - H28: 集英社 SPUR (デジタルファッショントリー)



25

## H28年度開講科目

- 事業アーキテクチャ特論: 情報 5名、創造 10名、単位 3名
- リーダーシップ特別講義: 情報 7名、創造 4名、単位 2名
- 事業アーキテクチャ研究: 情報 8名、創造 5名
- 経営戦略特論: 情報 7名、創造 6名、単位 6名
- スタートアップ戦略特論: 情報 13名、創造 8名、単位 4名
- コンセプトデザイン特論: 情報 13名、創造 19名、単位 1名
- 事業アーキテクチャ設計: 情報 4名、創造 3名
- マーケティング特論: 情報 14名、創造 8名
- ITソリューション特論: 情報 9名、創造 3名、単位 7名

26

## H28年度1年次学生

- 希望者: 13名
  - 情報10、創造3
- 興味あり: 9名
  - 情報6、創造3
- 現段階: 12名 (情報7、創造5)
  - 6科目5名、5科目7名

27

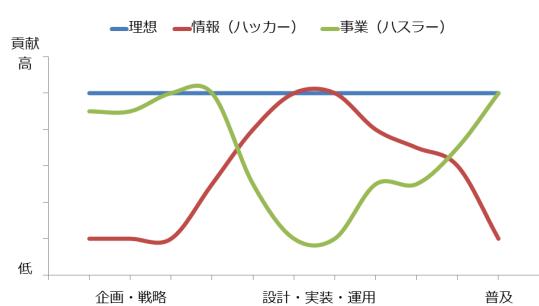
## H28年度PBL配属及び内容

- 小山裕司PBL (1名)
  - イノベーションのための情報システム・ソフトウェアの開発
- 酒森潔PBL (1名)
  - PMBOKベースのスタートアップ知識体系の有効性の検証と提言
- 戸沢義夫PBL (4名)
  - 事業改革に向けた事業戦略策定支援
- 池本浩幸PBL (1名)
  - 訪問時間外で訪問看護の質を高めるコミュニケーションサービス
- 越水重臣PBL (1名)
  - 生体情報を用いた観光支援ツール「EEG TRAVELER」の提案
- 吉田敏PBL (1名)
  - 都市におけるイノベーション一人と人の関係の再構築－

※PBLプロジェクト成果発表会  
2/11 (土・祝)、東京国際フォーラム (有楽町)

28

## 両アーキテクトの役割



## 社会人学び直し機運醸成

- 学修コミュニティイベント (起業塾) 7回 一般対象
  - H26: ○○×IT
  - H27: ものづくりスタートアップ、医療×IT、観光×IT、地域活性×IT
  - H28: ファッションテック、フィンテック、起業・スタートアップ、ハッカソン (スポーツ・観光×IT) 2/5  
※今年度はYouTube中継等の試みあり。
- Web記事 一般対象
  - 起業塾 (5回)、事業アーキテクト (1回)
- パンフレット 一般対象
  - 事業アーキテクトコース

30

## 起業塾

31

## Web記事

2016年4月13日

医療現場では、病院内の意思疎通や患者とのコミュニケーションなどの様々な課題があります。また一方で、IT技術の発達により新しい治療・サービスが開拓できる領域でもあります。第3回目は医療ITをテーマに、医療の課題に対してITによるアプローチ、革新技術により新しい医療のあり方を、4名の登壇者が提示しました。

Blogger in Chief  
Junichi Nitto (jnitto)  
IT技術による医療の変革と、オンラインメディア  
イノベーションを経営で実現。新しいオンラインマーケティングの可能性を追求しています。  
[新しいプロフィール]

Publickeyの新規登録情報をチェックしませんか?  
Twitter: @Publickey  
Facebook: Publickeyのページ  
RSSリーダー: Feed

Microsoft Azure  
Java, Node.js, PHP, NFT  
との言語でも始められます  
無料アカウント

## パンフレット

## 外部評価委員会

- H27年度 外部評価委員会**
  - 香川大学 大学院地域マネジメント研究科板倉宏昭教授
  - 横河電機株式会社大谷哲也氏
  - 株式会社ディー・エヌ・エー共同創業者 川田尚吾氏
  - 株式会社東芝 マーケティング戦略室 有賀英雄氏
  - 株式会社日立製作所 IT統括本部本部長 大澤隆男氏
  - 評価S: 4、評価A: 8  
基準1:A・S、基準2:A、基準3:S・A・S・S、基準4:S・A、基準5:A、基準6:A、基準7:A・A
- H28年度 外部評価委員会**
  - 芝浦工業大学専門職大学院 工学マネジメント研究科田中秀穂教授
  - 横河電機株式会社大谷哲也氏
  - 株式会社東芝 マーケティング戦略室 有賀英雄氏
  - 株式会社日立製作所 IT統括本部本部長 大澤隆男氏

34

## 外部評価委員会

全般的な長所・問題点・コメント

1 基準1：事業の目的・意義および学習・教育目標の設定と公開

番号	評議項目	評価	根拠・指摘事項
1	事業の目的・意義は、次世代成長産業分野において、従来の仕組みを改善し、事業を再構築できる高度材人材求められる深い知識及び基礎的能力を培う社会人やびいじの専門性大学院プログラムとして、社会の要請を踏まえて的確に定められており、学生・教員だけでなく社会にも公開されていること。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術と戦略を活用できる人材として明確に定められている。学内外への発信が一層強まる。</li> <li>観光・物販・医療等の実践的実習等と具体的な成長分野とイメージして、実習等の充実化が図られているといふ印象がある。</li> <li>次世代の事業家を育成する学びがひとして、更なるPR（注目度の高いイベントの実施など）が望まれる。</li> <li>本事業の意義・狙い・評議会の公開は内外とも積極的に進めているが、より多くの人に見て貰いたいという意図がある。</li> <li>マネジメントとITを活用した事業開拓と改革を遂げる人材を育成している。</li> </ul>
2	事業の目的・意義は、次世代成長産業分野において、従来の仕組みを改善し、事業を再構築できる高度材人材求められる深い知識及び基礎的能力を培う社会人やびいじの専門性大学院プログラムとして明確に定められており、学生・教員および教員に通知してること。	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習成果の見極のレーダーチャートなど工夫されている。</li> <li>カリキュラムとビデオシナプトの教材はまさに現在求められている人材であると云う認識ととなっており、学生・教員も理解しているものと思われる。</li> <li>学生は専門性大学院によっての能力や個別訴求を更に強化し、学生応募数を増やしていくいただきたい。</li> </ul>

出所など：日本技術者教育認定機構「専門職大学院認定評価報告書」を範例、抜粋して作成

## 今後

- 「事業アーキテクト」コース→ 継続
  - 講義・演習型科目
  - 事例研究型科目
  - PBL型科目
- 事例研究型の教育手法及び事例教材 → 未定
- 社会人及び女性の学び直しのための新しい環境整備 → 継続
  - 女性の学び直し（キャリア再開支援）
  - 専門実践教育訓練（厚生労働省）
- 社会人のキャリアアップの仕組み → 継続
  - 学修成果の記録・評価制度（ディプロマサブリメント）
- 社会人学び直し啓発の仕組み
  - 起業塾 → 未定（若干回数）
  - Web記事 → 未定（終了）

36